

うどねりいしかはのあそみひろなり
内舎人石川朝臣広成の歌二首

一六〇〇番

つまごひ
妻恋に 鹿鳴く山辺の 秋萩は 露霜寒み 盛り
すぎ行く

一六〇一番

きみ
めずらしき 君が家なる 花すすき 穂に出づる
あき
秋の 過ぐらく惜しも